

弥富市デジタル田園都市構想総合戦略 重点戦略評価シート【令和6年度】

重点戦略1 弥富市に仕事をつくる

総合計画

P145~146

●関連するSDGs



◆J R・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎化の整備を契機に、駅周辺の賑わいをつくりだすとともに、新産業エリアに位置付けられた西末広地区の新規企業立地の推進、新たな産業の育成など、農水産業を柱に発展してきた本市の特徴を踏まえつつ、港湾地域等における交通利便性を活かした企業立地を促進するなど、一層の産業振興を図ります。

◆安定した雇用の創出や多様な人材の確保・育成を図り、ワーク・ライフ・バランスの推進等による働きやすい環境を整備します。

■数値目標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

数値目標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
全産業における事業所数	事業所	2,078	—						2,088	—
数値目標の分析	—									

施策の方向性1 産業の振興

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称【PLAN】	事業費【DO】	評価【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】	方向性
(1)6次産業化活動促進事業	0	★★★★★	地域資源を活用した6次産業化に興味がある生産者や事業者と情報を共有し、6次産業化に伴う総合化事業計画などの推進を図ってまいります。	継続（現状維持）
(2)商工団体育成事業	28,275	★★★★★	中小企業にとって、商工会の支援は不可欠であるため、今後も商工会を支援していく必要がある。	継続（現状維持）
(3)中小企業事業資金融資事業	5,964	★★★★★	中小企業の経営安定を図るため、今後も継続して保証料の補助を実施していく必要があります。	継続（現状維持）
(4)企業立地推進事業	8,828	★★★★★	奨励金制度は令和7年度をもって終了する予定ですが、企業からどのような支援策が求められているのか調査を行い、企業誘致に向けて必要な施策を検討していきます。	継続（現状維持）

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標（KPI）	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(1)6次産業化への取組件数	件	1	2						2	◎
(3)制度融資利用件数	件	23	29						75	△
(3)信用保証料補助金交付件数	件	18	25						65	△

■施策の方向性1の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

地域資源を活用した6次産業化に興味がある生産者や事業者と情報を共有し、6次産業化に伴う総合化事業計画などの推進を図っていきます。また、市内の事業所について、中小企業や小規模事業者に対する商工会によるサポートや信用保証補助を今後も継続していきます。

企業立地推進については、名古屋港の背後地である南部地区を始め、鉄道、高速道路等の交通アクセスに恵まれた地域性などのPRを実施します。

施策の方向性2 働きやすい環境の整備

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)障がい者就業相談事業	0	★★★★★	海部障害者就業・生活支援センターの協力のもと令和5年10月に就業相談窓口を開設し、令和6年度は年間延べ74件の相談がありました。働く意欲のある障がい者やその家族のニーズに対応するため引き続き窓口を開設しつつ、今後の利用状況に応じて運用の見直しを検討していきます。	継続 (現状維持)
(2)英語指導者委託事業	20,790	★★★★★	グローバル化が進む中において、英語教育における外国語指導助手（ALT）のニーズは大きく高まっているため、引き続きALTを配置するとともに、教員の英語指導力向上研修を通して指導体制の強化にも取り組んでいます。	継続 (現状維持)
(3)職場体験学習事業	95	★★★★★	中学2年生という自分の将来について考え始める時期に、実際の仕事や働く人にふれてることで、生徒の進路や職業への関心を高め、働くことの意義や自分たちの生活が地域の働く人によって支えられていることを、生徒が実感することができます。今後も、今まで同様に、多くの事業所へ継続した協力または新規の協力をいただき、充実した職場体験を実施していきます。	継続 (現状維持)
(4)就職相談・情報提供事業	0	★★★★★	引き続きハローワーク津島と連携し、就業相談等の情報提供を行い、就業を促進していきます。また、広報やリーフレット等を活用して、引き続き市民へ周知を図っていきます。	継続 (現状維持)
(5)「ファミリーフレンドリー企業制度」・「あいちっこ家庭教育応援企業」等普及事業	0	★★★★★	愛知県の実施する、あいちワーク・ライフ・バランス行動計画と連携しながら、市広報誌や市ホームページ等を活用した情報提供や啓発活動による周知を図ることで、ファミリー・フレンドリー企業登録数の増加を目指します。	継続 (現状維持)
(6)広報・啓発事業	19	★★★★★	男女共同参画などの情報は常にアップデートされており、正しい理解を市民へ広げるためにも関係者などと連携しながら啓発活動等を行う必要があります。	継続 (現状維持)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度 【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(3)職場体験受入れ事業所数	事業所	15	103						100	◎
(5)ファミリーフレンドリー企業登録数	件	8	9						12	○
(6)広報誌による啓発回数	回	6	3						6	○

■施策の方向性2の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

誰もが働きやすい環境を整備するため、働く意欲のある障がい者やその家族のニーズに対応するための就業相談窓口を継続します。失業者等に対しては、引き続きハローワーク津島と連携し、就職相談や情報提供などによる雇用機会の確保に努めるとともに、国・県の支援策等を周知していきます。また、家庭・地域・学校及び職場における男女共同参画を今後も推進していきます。
学校教育においては、グローバル化が進む現代において、英語教育への対応が求められていますが、ALTの配置を継続しつつ、教員への英語指導力向上に資する研修を充実させていきます。更に、中学生の職場体験を継続して実施するため、受入企業の確保に努めています。

重点戦略2 弥富市への人の流れをつくる

総合計画

P147~148

●関連するSDGs



◆リニア中央新幹線の開業により、愛知県が中心に位置付けられる人口7千万人のスーパー・メガリージョンが形成されることに伴い、本市の名古屋市との近接性や交通利便性等、恵まれた立地条件により一層活かすため、駅周辺エリアの商業機能向上による魅力の創出を図ります。

◆観光拠点となる歴史民俗資料館やYaToMi AQUAのある弥富まちなか交流館への来館者を増やすため、市内外への情報発信を強化します。

◆三ツ又池公園、海南こどもの国、名古屋競馬場等を活用した、まつりや金魚イベントを通して、本市独自の特色ある魅力を広めるとともに、関係人口の創出・拡大を図ります。

■数値目標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

数値目標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年		
人口社会増減数	人	2	73						15	◎
数値目標の分析	令和5年の値は131人であったため、増加幅は減少したもの、依然として社会増の状態となっています。その要因としては外国人の転入者数が大きなウエイトを占めています。引き続き、関係機関との連携を強化し、選ばれるまち、住み続けたいまちの実現に向け、魅力ある施策、情報発信を推進していきます。									

施策の方向性1 シティプロモーションの強化

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】						方向性
			令和4年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	
(1)観光PR事業	4,881	★★★★	YaToMiAQUAを観光拠点として活用とともに、様々な広報媒体等を通じて市内観光のPRを行いました。今後も全国に誇る特産品である「弥富金魚」を活用したイベントを市内外で継続実施し、観光情報の発信を行います。						継続 (現状維持)
(2)広域観光体制充実等事業	220	★★★★	近隣市町村及び木曽三川下流地区広域観光連携協議会等と、それぞれの特産品等のPR活動や情報共有を行いました。今後はいち海部地域観光ネットワーク協議会による広域観光マップの作成に協力し、連携強化を図っていきます。						継続 (現状維持)
(3)市ホームページ事業	6,681	★★★	コロナ禍であった令和3年度をピークにコロナ関連情報への市民の関心が安定し、ホームページの階層を見直したことにより、見たい情報へアクセスしやすくなり、閲覧件数は減少傾向にあります。今後は、ホームページの情報の集約などにより、見やすいホームページ作成を推進とともに、広報誌や市公式SNSと連動させた情報発信などを行い、目標値に近づけるよう周知に努めます。						継続 (改善)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(3)ホームページの閲覧件数	件	1,799,571	1,377,673						1,900,000	△
(3)市公式SNS(X、LINE、Youtube)の登録件数	件	4,211	5,281						5,000	◎

■施策の方向性1の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

情報発信の重要性を認識し、膨大な情報量を持つホームページの見やすさを追求することで、必要な情報をより分かりやすく、速やかに発信することに努めています。また、広報誌や市公式SNSとの連動にも積極的に取り組んでいき、多くの方に見ていただける媒体を目指していきます。

観光分野では、YaToMi AQUAや歴史民俗資料館を拠点として情報を発信しつつ、市の特産である金魚イベント等を継続して実施することで本市を広く発信していきます。

施策の方向性2 駅周辺における賑わい創出

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1) JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業・弥富駅北口交通広場等整備事業	139,050	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画通り事業を進めていきます。	継続 (現状維持)
(2)車新田地区土地区画整理事業	19,250	★★★	今後も事業目的の達成に向けて、事業化検討パートナーと調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値 【DO】						目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度		
(2)市街化区域面積	ha	1,110	1,110						1,150	○

■施策の方向性2の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

人口減少や少子高齢化等の社会構造の変化に対応すべく、持続可能な街づくりを目指し、JR・名鉄弥富駅自由通路整備事業を推進していきます。
JR・名鉄弥富駅自由通路整備事業に合わせて、弥富駅周辺地区の整備事業の推進、また、車新田地区的まちづくりを推進していきます。

施策の方向性3 特産振興と地域資源の活用

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)地産地消促進事業	85	★★★★	本市のイベントである「やとみ青空市」の場において、地産地消として地元農産物の消費拡大を推進するため、事業の一貫として米の無料配布を行い、地元農産物に対する地産地消のPRを行ってまいります。	継続 (現状維持)
(2)金魚関係団体活動助成事業	2,235	★★★★	弥富金魚が持つ高い知名度、ブランド力を最大限生かし、金魚日本一大会やその他イベントに積極的に参加し、弥富金魚の魅力を伝えることや、愛知県水産試験場の協力のもと弥富金魚漁業協同組合が行う金魚養殖技術の向上を図る研究会を支援しました。今後も、事業を継続し、弥富金魚の魅力の発信及び担い手の確保を図っていきます。	継続 (現状維持)
(3)観光協会補助事業	4,558	★★★★	観光マップやさんちゃんグッズの作成、観光協会のホームページの整備などを行い、観光情報発信の充実を図りました。今後は愛知学院大学及び名古屋造形大学との連携事業により新たな観光マップを作成し、市内観光客に弥富市の魅力を発信します。	継続 (現状維持)
(4)市内イベント開催事業	17,328	★★★★	桜並木ライトアップ、やとみ桜まつりや海南こどもの国と共に開催する秋まつり等を開催しました。今後も事業を継続し、観光入込客数の増加を図ります。	継続 (現状維持)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値 令和4年度	各年度の実績値 【DO】						目標値	達成度 【CHECK】
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度		
(1)地産地消PR件数	件	4	1						5	○
(4)観光入込客数	千人	560	583						710	○

■施策の方向性3の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

農産物生産者や商工業者、観光関連団体等との連携を強化し、地元農産物の付加価値向上と地域経済の活性化を図るために、やとみ青空市等の各種イベントを継続して開催します。
また、金魚漁業協同組合や観光協会など関係団体への支援を継続し、地域の特産品を観光資源として発信するイベント等の取組を推進することで、地域資源を活かした持続可能な地域経済の発展と、市民が誇りを持てるまちを目指します。

重点戦略3 結婚・出産・子育てへの希望をかなえる

総合計画 P149～150

●関連するSDGs



◆全国的に深刻さを増している少子化の背景には、経済的不安定さ、雇用に対する不安、子育ての孤立感・負担感等、様々な要因があり、それに加え、本市の人口動向の特徴として、20代は就職をきっかけとした転入超過、30～40代は結婚や出産を経た子育て世代の転出超過が見られる中、社会全体で、未来を担う若い世代や子育て世代への支援を進める取組を強化し、安心して子どもを産み、健やかに育める「こどもまんなか社会※」の確立を図ります。

■数値目標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、－：把握が困難

数値目標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年		
出生数	人	333	294						360	△
数値目標の分析	令和5年は282人であったため、令和6年に若干の回復は見られました。しかし、目標値を考えますと、厳しい数値であることが言えます。全国的に出生数が減少する中、子育て環境の向上及び定住促進に資する各種施策を展開し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進していきます。									

施策の方向性1 安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境の整備

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称【PLAN】	事業費【DO】	評価【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】						方向性
			令和4年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	
(1)ファミリー・サポート・センター事業	7,983	★★★	市と地域住民（協力会員）が協働して子育て支援を行うという側面があり、市が直接運営する意義は大きいと考えます。協力会員の確保が課題であり、適時適切な支援が常時可能となるよう、事業の啓発の強化に努め、会員の確保に繋げる必要があります。						継続（改善）
(2)子育て世代包括支援センター事業	3,533	★★★★★	よりよい支援に向けて児童課と連携を強化するため、来年度より健康推進課での子育て世代包括支援センター機能と、児童課での子ども家庭総合支援拠点機能を一体化した「こども家庭センター」を設置します。新たに妊婦面談業務が追加されるため、人材確保が必要となります。						継続（改善）
(3)「ファミリーフレンドリー企業制度」・「あいっこ家庭教育応援企業」等普及事業	0	★★★★★	愛知県の実施する、あいちワーク・ライフ・バランス行動計画と連携しながら、市広報誌や市ホームページ等を活用した情報提供や啓発活動による周知を図ることで、ファミリー・フレンドリー企業登録数の増加を目指します。						継続（現状維持）
(4)結婚活動支援事業	302	★★★★★	行政が主催することによる参加者への安心感の提供、地域活性化、少子化対策などの意義からも引き続き行っていく必要があります。						継続（現状維持）

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、－：把握が困難

重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(1)ファミリー・サポート・センター会員数	人	724	670						820	△
(3)ファミリーフレンドリー企業登録数	件	8	9						12	○
(4)婚活イベントへの参加者数	人	17	24						50	○

■施策の方向性1の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境づくりとして、各種事業の啓発の強化や人材確保に努め、引き続き、関係機関や民間事業者等と連携して事業を実施します。また、令和7年4月に設置した「こども家庭センター」においては、妊娠期から出産・子育て期まで安心して過ごせるように、児童課と健康推進課が協働連携による一的な支援を行っていきます。

施策の方向性2 子育て支援の充実

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)児童クラブ管理運営事業	146,839	★★★	共働きやひとり親家庭が増加傾向にある中で、放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の需要は高まっていることから、令和7年度から利用時間を午後7時までに拡充します。今後も安心安全な施設管理に取り組むとともに、スタッフの確保に努めています。	拡充
(2)児童館管理運営事業	70,630	★★★★★	習い事やテレピゲームの普及などにより、児童の放課後及び休日の生活状況が変化し、児童館の利用者が減少傾向にありますが、安全な子どもの居場所として維持していく必要があります。今後も、時代や市民のニーズに沿った、魅力ある施設運営に努めています。	継続（現状維持）
(3)子育て支援センター管理運営事業	25,273	★★★	子育てに関する相談や育児の情報提供のほか、妊娠や乳幼児の保護者が相互の交流を行う施設として、児童虐待につながる育児ストレスを解消する場ともなっています。時代や保護者のニーズに合わせながら、利用者が気軽に利用できる施設運営に努めています。	継続（改善）
(4)保育所管理運営事業	1,335,424	★★★★★	公立保育所において、待機児童ゼロ施策を継続し、保育に欠ける未就学児童に安全・安心な保育サービスを提供するとともに、多様化する保育ニーズに対応するため民間の力を活用し、「弥富市公立保育所の民営化基本方針」に沿って一部保育所の民営化に順次取り組んでいます。	継続（改善）
(5)一時預かり事業	8,509	★★★	多様な保育ニーズへの対応策として、市立保育所1か所で1日5人を限度に受け入れをしました。利用者の増加が見込まれるため、受け入れ人数の拡大を検討し、子育て施策の充実に努めます。	拡充
(6)養育支援訪問事業	137	★★★	子育ての知識が豊富な支援員による家庭訪問を実施させることは有意義と考えます。そのため、支援が必要と判断する家庭に訪問を受け入れてもらえるよう、引き続き、保健師及び家庭相談員と連携して適切な支援に繋げていきます。	継続（改善）
(7)市立保育所民営化（認定こども園化）事業	18,500	★★★★★	指定候補法人から派遣された保育士と共同で保育を実施することで児童の保育環境の変化を最小限におさえ、スマートな移管を行うことができました。公立保育所の民営化基本方針に基づき、今後も民営化及び認定こども園化を進めています。	継続（現状維持）

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(3)子育て支援センターにおける育児相談件数	件	54	37						120	△
(5)保育所による一時保育の件数	件	580	851						800	◎
(6)養育支援訪問事業利用者数	人	1	4						15	△

■施策の方向性2の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

子育て支援については、引き続き、妊娠期から出産・子育て、若者支援まで切れ目ない持続性のある施策を民間事業者や関係機関と連携し推進します。 保育については、令和7年4月から実施した、ひでの保育所の民営化について検証を行うとともに、弥富市公立保育所の民営化基本方針に基づき弥生保育所の令和10年度からの民営化に向けた取組を進めます。

施策の方向性3 教育環境の充実と多様な学びの場の提供

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)平和教育推進事業	16,828	★★★★★	生徒一人ひとりが平和を願う心情と命の尊さを理解するため、事前に個人及びグループ単位で各教科横断的に学習を深め、実際に被爆地となった広島へ赴くことで戦争の悲惨さや怖さを五感で感じ、体験後には学習発表会や平和パネル展等により他の生徒や市民へ周知することは大変意義があり、今後も事業を継続させる必要があります。	継続 (現状維持)
(2)情報機器整備事業	64,536	★★★★★	社会全体でデジタル化が急速に進む中、将来必要とされる「情報活用能力」や「プログラミングの思考能力」などの能力を子どもたちに身に付けさせることができます重要になっています。子どもたちへ効率的でわかりやすい授業を実施するには、引き続き国際GIGAスクール構想に基づき、ICTを有効活用した授業が必要となるため、適切にタブレット端末やネットワークなどの情報機器の更新が必要となります。	継続 (現状維持)
(3)いじめ問題対策事業	882	★★★★★	児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめ問題を未然に防いだり、いじめの早期の発見・解決を図るために事業の継続が必要です。	継続 (現状維持)
(4)SC（スクールカウンセラー）配置事業	20,560	★★★★★	不登校児童・生徒やその保護者の心の相談ニーズは高く、引き続き学校と調整を行い、スクールカウンセラーを配置していきます。小中学校の再編が進んでいくにつれて学校数が減っていくものの、児童生徒、保護者及び教職員の心のケアを考慮し、小中学校再編が落ち着くまでは現状の配置を維持していきます。	継続 (現状維持)
(5)SSW（スクールソーシャルワーカー）設置事業	3,447	★★★★★	学校でのいじめや不登校、家庭内の虐待に加え、ヤングケアラーなど児童・生徒を取り巻く課題は多く、生活環境から関わり、学校・家庭・地域などと連携し課題の解決を目指すためには、引き続きスクールソーシャルワーカーの配置が必要があります。	継続 (現状維持)
(6)こども相談事業	1,477	★★★★★	「やどみっ子お悩み相談室」の案内を市内の小学校・中学校に配布し、メール・電話・手紙・面接等で相談を実施しています。引き続き、必要に応じて子どもたちの支援ができるよう、継続して相談を実施する必要があります。また、「カラフル」における月2回の相談支援については、学校内で相談しにいくことにも対応できるため、毎回予約で埋まっている状況にあるため、引き続き相談支援体制を確保する必要があります。	継続 (現状維持)
(7)放課後の居場所づくり推進事業	0	★★★★★	放課後の居場所づくりの一環として、部活動地域展開は休日の活動から平日の活動と段階的に持続可能な体制を構築していく必要があります。活動母体となる組織の確立や既存の文化・スポーツ団体との調整、指導者の確保などを図っていく必要があります。	拡充

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値 令和4年度	各年度の実績値【DO】					目標値 令和10年度	達成度 【CHECK】
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(4)スクールカウンセラーの年間配置時間数	時間	934.5	3,879.5					1,000	◎
(5)スクールソーシャルワーカーの年間配置時間数	時間	1,110	1,338					1,500	○

■施策の方向性3の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

知・徳・体のバランスが取れ、社会の変化に対応して主体的によりよい生き方を実践することができるよう、児童・生徒の将来に生きる力を育むことを目指し事業を進めます。不登校、SC、SSW事業については、福祉部局と連携しながら重層的支援に努めます。

重点戦略4 魅力的な弥富市をつくる

総合計画 P151~152

●関連するSDGs



◆近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震や多発する集中豪雨等の自然災害に備え、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策に取り組みます。

◆人生100年時代を生き抜くため、誰もが自分らしく暮らせるよう、性別、年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、個性や多様性が尊重され、いつまでも学び、様々な活動に参画できるようにすることで、生きがいを感じながら暮らせる環境づくりを進めます。

◆都市的機能の集約や公共交通等移動手段の利便性向上を図ることで、コンパクトなまちづくりを推進します。

■数値目標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

数値目標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
市への愛着度	%	70.6	—						75	—
数値目標の分析	—									

施策の方向性1 危機管理が行き届いた災害に強いまちづくり

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

主な取組(事業)の名称【PLAN】	事業費【DO】	評価【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】	方向性
(1)災害対策事務事業	1,281	★★★★	大規模災害に備え、引き続き避難所や防災倉庫などに災害対策用資機材を計画的に配備していきます。	拡充
(2)防災施設管理事業	5,986	★★★★	大規模災害に備え、防災倉庫、行政防災無線などの防災施設の適切な管理を実施していきます。	継続（現状維持）
(3)排水路管理事業	52,242	★★★★	今後も各地区からの事業申請に基づき、現地調査を行い、優先順位を付け適切に維持管理を行います。	継続（現状維持）
(4)緊急時避難場所確保事業	0	★★★★	現状は人口に対し緊急時避難場所の面積は確保できていますが、地区により隔たりがあるため、更なる確保を進めていく必要があります。	拡充
(5)自主防災組織活動支援事業	4,180	★★★	引き続き地元要望を聞きながら、地域に合わせた防災資機材の提案や防災訓練の内容調整を検討しながら進めていきます。	継続（改善）
(6)防災訓練・防災学習事業	230	★★★★	本市の未来を担う子どもたちの防災意識向上のため、保育所及び小学校における避難訓練及び防災教室の実施や、小学校における防災キャンプの開催は非常に重要な意義をもっています。特に、4小学校による合同防災キャンプでは各種企業・団体や愛知県明高校と連携して実施しており、地域防災力の向上にも繋がります。今後も、防災教育活動を引き続き実施し、防災の普及啓発及び意識向上を図っていきます。	継続（現状維持）

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(4)津波・高潮緊急時避難場所の指定箇所数	か所	58	75						75	○
(5)防災訓練を実施した自主防災組織の数	団体	17	23						60	△

■施策の方向性1の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

大規模な風水害・地震等の自然災害に備え、施設整備、資機材の配備等を引き続き実施していきます。
 また、子どもの防災意識を高めるため、保育所及び小学校における避難訓練、防災教室、防災キャンプ等を継続的に取り組んでいくことが必要です。
 一方、緊急時避難場所や自主防災組織に関しては、民間施設との協定による避難場所の確保や、状況に応じた適切な対応に努めています。

施策の方向性2 人と人とがつながるまちづくり

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)ファミリー・サポート・センター事業	7,983	★★★	市と地域住民（協力会員）が協働して子育て支援を行うという側面があり、市が直接運営する意義は大きいと考えます。協力会員の確保が課題であり、適時適切な支援が常時可能となるよう、事業の啓発の強化に努め、会員の確保に繋げる必要があります。	継続（改善）
(2)ささえあいセンター事業	807	★★★	協力会員が少ない地区に出向き、生活支援センター養成研修を開催することで新規協力会員の確保に繋げるとともに、ささえあいセンター事業の周知啓発に努め、「住民同士支え合う」気持ちが育まれるよう働きかけています。	継続（改善）
(3)障がい者ボランティア活動補助事業	20	★★★	障がい者の社会参加を促進するためには、ボランティア団体や実際に支援の扱い手となるボランティア人材の確保が重要であるため、引き続き補助を行うとともに、団体を所管する社会福祉協議会との連携強化に努めます。	継続（改善）
(4)協働のまちづくり推進事業	1,279	★★★	行政と連携・協働しながら地域課題等が解決できるよう、各市民活動団体等の活動を支援するために補助金要綱の見直しを進めていく必要があります。	継続（改善）
(5)ヤトミーティングプロジェクト事業	4,997	★★★★	本事業に参画・参加する人数を増やすため、市民に対して法人の目的や実施する事業について分かりやすく伝えるとともに周知する必要があります。また、今後も社会動向やトレンド、類似団体の事例等の情報収集や市民協働の推進等を調査・研究していく必要があります。	継続（現状維持）
(6)地域活動事業	6,509	★★★	コミュニティ主催の各種事業はコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、コミュニティが各種事業を実施する必要性に対して疑問視する声や、各種事業を支える役員等の扱い手不足も深刻な課題となっており、コミュニティの必要性・重要性について広く市民に啓発をしていく必要があります。	継続（改善）

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】○：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度 【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(1)ファミリー・サポート・センター会員数	人	724	670						820	△
(2)ささえあいセンター事業活動時間	時間	8,343	8,361						12,400	△
(3)福祉ボランティア登録者数	人	84	70						92	△
(4)地域づくり補助金活用団体数	団体	26	33						48	○
(5)地域資源バンクの登録件数	件	—	172						350	○

■施策の方向性2の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

少子高齢化や地域コミュニティの希薄化が進む中で、地域住民同士による共助の仕組みを確保するため、ファミリー・サポート・センター事業等の実施や福祉ボランティア等への支援を継続・改善し、地域住民との協働による持続可能な運営に取り組みます。

また、地域の課題を共有し、多様な交流の場を通じて相互理解と協働を促進するための活動及び団体を支援し、人と人がつながるまちづくりを推進します。

施策の方向性3 地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)コミュニティバス運行事業	114,927	★★★	高齢化や運転免許証返納者の増加により、交通弱者に対する交通手段の確保が喫緊の課題ですが、市内全域におけるデマンド交通の実証実験を通じて、課題が解決されるか検証していきます。	継続 (改善)
(2)JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業・弥富駅北口交通広場等整備事業	139,050	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画通り事業を進めていきます。	継続 (現状維持)
(3)車新田地区土地区画整理事業	19,250	★★★	今後も事業目的の達成に向けて、事業化検討パートナーと調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(4)区域区分・用途地域見直し事業	18,865	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画どおり事業を進めていきます。	継続 (現状維持)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値 令和4年度	各年度の実績値 【DO】						目標値 令和10年度	達成度 【CHECK】
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
(1)コミュニティバス等利用者数	人	73,828	75,939					100,000	△	
(3)市街化区域面積	ha	1,110	1,110					1,150	○	

■施策の方向性3の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

コミュニティバスをはじめとする地域公共交通については、デマンド交通の実証実験を踏まえ、地域の特性や実情に沿った公共交通網の編成を行っていく必要があります。人口減少や少子高齢化等の社会構造の変化に対応すべく、持続可能な街づくりを目指し、JR・名鉄弥富駅自由通路整備事業を推進していきます。JR・名鉄弥富駅自由通路整備事業に合わせて、弥富駅周辺地区の整備事業の推進、また、車新田地区的まちづくりを推進していきます。

重点戦略5 DXで暮らしを豊かにする

総合計画 P153~154

●関連するSDGs



◆新型コロナウイルス感染症の影響により、社会のデジタル化は急速に進展し、本市の行政運営においても、デジタル技術を有効的に活用し、様々な課題を解決するなど、「市民本位のデジタルで快適・便利なまち」の実現を目指し、取り組んでいきます。

◆本市では、行政のデジタル化をより一層推進し、A I や I C T等のデジタル技術の活用によりDXを実現し、市民の利便性向上を図ります。

■数値目標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

数値目標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
行政手続の電子申請件数	件	10	460						300	◎
数値目標の分析		令和5年度は285件であり、昨年度に引き続き増加傾向にあります。要因としては、デジタル庁が展開するマイナポータルを利用してマイナンバーカードを使った電子申請ができる「びったりサービス」の周知により、様々な行政手続が電子申請で行われたことで件数が増えたものと考えられます。今後も、行政のデジタル化を推進し、市民の利便性向上を図ります。								

施策の方向性1 DXによる市民サービスの利便性向上

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

主な取組(事業)の名称【PLAN】	事業費【DO】	評価【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】	方向性
(1)避難行動要支援者名簿・個別避難計画整備事業	451	★★★★★	住宅地図システムを活用し、自宅から避難所までの経路を可視化した個別避難計画の作成に取り組んでいます。引き続き、地域支援者及び支援事業所と協力しながら、実態に即した個別避難計画の作成を推進していきます。	継続（現状維持）
(2)滞納整理事業・納税推進事業	14,936	★★★★★	引き続き、財源の確保及び税負担の公平性を確保する観点から、差押え等の滞納処分を行う一方、納税猶予等の納税緩和措置を講じるなど、滞納者個々の実情に応じた適正な債権管理に努めます。また、オンライン行政サービスとして電子納税を活用し、DXの取組を推進します。	継続（現状維持）
(3)市民なんでも相談窓口事業	5	★★★	市ホームページや市広報誌等により周知を図り、市民が抱える困りごとの相談支援に引き続き取り組みますが、相談件数は月1件程度であるため、運営の合理化や開催頻度の見直しも視野に制度を再検討する必要がある。	継続（改善）
(4)コンビニ交付事業	4,803	★★★★★	今後も市広報誌やホームページ・S NSに利便性を強調した記事を掲載したり、様々な公共施設で利用を促すポスター等を掲示することで広く市民へ周知します。また、市役所窓口へ証明書の交付に来庁されたマイナンバーカード保有者や、マイナンバーカードを新規・更新などの交付手続きで来庁された方へも、コンビニ交付の手順を分かりやすく掲載した用紙を配布して利用を促し、更なる利用者拡大を推進します。	継続（現状維持）
(5)道路台帳管理事業	286	★★★★★	令和6年度については、国土交通省から指定の優先度の高い路線の収録を実施しました。今後も、申請者の利用の多い路線または国土交通省から指定の優先度の高い路線の収録を進めることで、申請者の利便性向上へと繋げるとともに、照会件数の減少を目指します。	継続（現状維持）
(6)下水道情報システム構築事業	15,400	★★★★★	令和6年度に下水道台帳のデジタル公開及び窓口用閲覧システムを導入しました。今後は下水道情報管理システムの導入に係るPRを断続的に行っていくとともに、下水道情報管理システムへ毎年施工された下水道施設のデータ更新を行っていきます。	継続（現状維持）
(7)S M Sを活用した通知配信サービス事業	188	★★★★★	詐欺メール対策として、定期的にホームページや広報に、市ではS M S（ショートメッセージサービス）を利用して「未納のお知らせメール」を送信している記事を掲載するなど、引き続き市民に周知することも、今後は、導入自治体同士で送信テンプレートの共有を行い、より効果的な「未納のお知らせメール」の改善に努めます。	継続（現状維持）
(8)給食・栄養計算献立支援管理システム導入事業	344	★★★★★	給食管理システムを活用しながら、引き続き公立保育所と連絡を密にし、栄養相談・指導に繋げています。外国人保護者には、デジタル配信と紙面配布どちらも行っているため、デジタル配信のみで対応できるようサポートと支援を行えるか保育士と協議しています。また、保護者によるアレルギーチェック表の確認・返信にかかる時間をより短縮できるよう、保育所とともに状況の把握と改善に努めています。	継続（現状維持）

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、ー：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】						目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(1)住宅地図とリンクした個別避難計画策定数	件	0	4						15	○
(2)市税収納率	%	95.8	96						96.4	○
(3)市民なんでも相談窓口相談件数	件	—	17						100	△
(4)証明書コンビニ交付件数	件	—	5,365						7,500	◎
(5)特殊車両通行許可申請に関する道路情報照会件数	件	436	339						100	○
(6)下水道台帳のアクセス件数	件	0	0						1,000	○

(7)催告書の発送件数	件	2,000	1,752					1,200	○
(8)保護者による食物アレルギーのチェック表作成数	枚	960	354					20	○

■施策の方向性1の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

令和6年度は、国の交付金を活用し、多くの行政サービスのデジタル化を実施しました。特にマイナンバーカードを活用した証明書のコンビニ交付については、多くの利用があり、一定の効果があったといえます。とはいっても、まだ市役所まで来ないと発行できないと思っている市民も多いことから、更なる周知が必要と考えます。その他の事業についても、オンライン手続きや配信等に伴い、市民の利便性向上が図られています。更なる市民サービス向上を目指し、本市の実情に即したデジタル化を進めていけるよう各セクションにおいて取り組んでいきます。

施策の方向性2 デジタル化による行政運営の効率化

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】						方向性
			この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】						
(1)業務改善運動事業	22	★★★	業務改善提案について取組を再開することはできませんでしたが、令和7年度からの再開に向けて職員の意識を醸成するための研修会を開催するとともに、新たな業務改善提案制度の構築に向けた検討を進めました。令和7年度から、行財政アドバイザーの委嘱とともに若手・中堅職員の政策提案能力の育成を行い、職員の政策提案機会の創出や、誰もが気軽に「気づき」を共有できるような業務改善提案制度の実施を目指します。						継続 (改善)
(2)職員研修事業	972	★★★	階級別で受講必須としている研修科目の見直しや受講科目を選択性にするなど、多様な手段による研修受講体制を整えていきます。						継続 (改善)
(3)情報セキュリティ研修事業	0	★★★★	引き続き各種研修を計画し、職員の個人情報に対する意識向上を図ります。						継続 (現状維持)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】○：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値	各年度の実績値 【DO】						目標値 【DO】	達成度 【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(1)業務改善提案件数	件	0	0						25	△
(2)職場外研修(専門研修)受講者数	人	52	70						110	△
(3)情報セキュリティに関する職員の研修受講者数	人	16	45						200	○

■施策の方向性2の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

デジタル技術を活用した業務効率化は進んでいます。職員でなくとも対応可能なノンコア業務への負荷を、デジタル化等により軽減することが重要と考えられることから、まずは職員一人ひとりがデジタル技術を適切に活用できるよう、研修等により育成を図っていきます。
また、令和7年度から業務改善提案を実施すること等により、職員の意識改革を促していきます。